

## 「爺入院」

(2002年、父89歳)

08／30

午後3時、座っていたジイチヤンが立てない、左半身に力が入らない、何か、一生懸命言つているのに、ア・ワ・ワ・と言葉にならない。救急車呼んで、小野田市民病院の救急センターへ・・毎度。早速、血の流れ良くする薬、血栓を溶かす薬の点滴。

少し落ち着いて、パピップペポ、ラリルレロは何とか言える。左足上げて、左手上げて、手を握つて・・・も、少し力は弱いけど、何とか出来る。病室が開いてなくて、取り敢えず、家に連れて帰る、ベッドから起きて、何とか車まで歩いて行けた（今から思つと不思議・・）

ところが家で、夕食をとろうと、食卓に座つたけど、どうも様子がおかしい、水を飲ますと、ジュルジュルと口から溢れ出る、無理して飲ますと・・飲み込めず、ゲボゲボ・

ゴッホゴッホ、多分気管に入っているのだと気が付き、大慌て。寝ても「もう少しうまく」としたのだけど、これからが又大変、「シッコにいく・・」と言つけど、立てない。しょうがないので半分背負つてトイレに連れて行く、骨太・大男のジイ、介護大変。小便器の前に立つのだけど、左に傾いてなかなか出来ない、トイレの床シッコだらけ。次からは腰掛便器に座らせてシッコ。

ジイの部屋に一晩、一緒に寝てあげたけど、とうとう一晩中寝られない。

何とか水分を・と先生に言われていたので、朝、起きる前に、コップ半分の水をゆっくり・何とか飲んでもらった。昨夜から何も食べていないので、バアがお粥を作つてスプーンで口に入れるけどなかなか飲み込めない。

車に乗せて病院に連れて行く、車に乗せるのも大仕事。玄関からは車椅子を借りて運ぶ、妹も一緒だったので助かった。病院休みなので、救急センターで治療、先生の問い合わせに、頭はしつかりしているのか、ちゃんと答えられるのだけど、はつきり口で言えない、昨夜から全然食べて無く、水もやつとロップ半分位しか飲んでいないので、早速点滴開始。MRI撮影・・動くので、いい写真が取れない、CT写真で取り直し・・はつきりした脳の原因場所は特定出来ない。早速、観察病室に入れられ24時間看護。妹と交替で付いてあげた、16時から僕の番だったけど、これが超大変・・例によつて、点滴の針を引き抜くとする、「シッコに行く・・」と囁いて、ベッドから降りようとする、「家に帰らんといカン・・」と言つて、ベッドから降りようとする、シッコと言つから尿瓶を添えるけど出ない、しょうがないのでどうどうオシメ、オシメを嫌がつて（当然だ・・）とうとう、お漏らし。

シッコの時はナースボタンを押せば看護婦さんが来てくれるようになつているのだけど、ジイにとつてみればまず「トイレと行く」という頭

しかないので、ボタンは全然意味が無い。看護婦さんが、消灯時間の9時までいてくれというので、とうとうの時間大格闘。夜中、痰がツカエて、大分咳き込んだみたい。

09/01

9時から病院、ジイは、グースカ寝ている、昨夜の大格闘に比べて、大助かり、チンコの穴からチューブ突っ込んで膀胱から直接採尿しているので、昨夜の様に「シツコに行って来る・・」と言つてベッドから降りようとするのは無くなつて、少しは助かるが、ジイ可哀想。

11時、看護婦さんが、下半身の大掃除、口の中も大掃除・・気持ち良くなつたよ。そのせいか又もや、グースカ・・とうとう夕方4時まで熟睡、時々「家に帰らんと・・」と言つて起き上がろうとするのを、なだめるのが大変。

痰が溜まり、苦しそう。痰を採るのは、鼻から細いチューブ突っ込んで、喉の痰を採る、鼻がムズカつて苦しそう、見ている僕も思わず鼻が痛くなる。夕方から、痰が溜まらない様に、吸入マスク。何日か、点滴をして効き目が出れば、左半身・口周りの筋肉回復するかもしれない・・と云われているけど・・サアどうだか?

09/09

介護10日目、いささか疲れた、・・・と言つよりも、「こちらの体の調子も悪くなるような気分になつてしまつ。

昨日まで、絶食・絶飲、24時間点滴、シッコは膀胱から採取、水も飲めず・言葉もはつきりしない状態で、この2、3日かなり強い薬（・・・腎臓に障害が出るかもしれないという・・・）を点滴していたが、その成果が現れたのか、今日は相当元気・・・

言葉も、今迄は、しゃべっている言葉の1／4位しか分からなかつたけど、今日は2／3位は理解できる位迄、回復した模様・・しかも、しゃべる言葉の量も増えた、唯、ジョン（犬）の話やら、銀行の検査部の話やら、圭助は大学はどうした？だとか・・まだ記憶がタイムスリップしている模様。午後から水が飲めるかどうかの検査・・最初はスプーン1杯の水で、少しムセたけれど、ゼリー状の物だといいかもしれないと云うので、プリンを買ってきて食べさせたら、なんと自分でスプーンを使つて、食べるは・食べるは、一気に食べてしまつた。余程美味しかつたみたい。その後、水を飲ませたら上手に飲め・・一応試験に合格、・・本人も嬉しかつたらしく、看護婦さんに「試験に合格した！！」と言つて自慢していた。食後の歯磨き・口づくづく・ペーツ・・・も上手に出来る。

調子がいいので、点滴も一時お休み、チンコのチューブも抜いて腰掛便器に座らせたらものすゞいウンチとシッコ・・・余程オシメが駄目らし

い。・・唯、未だに自分でトイレに行こうとするのには弱る。せつかく自由の身になれたので、車椅子に乗せて皮膚科の検診に行く・・水虫の治療。

昨日の日曜日から大相撲も始まつたのでテレビを見せてやる・・相撲については、ジイの方が詳しく、解説してもうう。

手を上げる・握る、指を動かす、足を上げる・・等の動作はとても上手に出来る、もう少し経てば、歩く訓練に入ると思う。明日の昼からは、お粥を食べさせよう・・と看護婦さんは言つてゐる。問題は夜のベッドからの脱出（トイレに行こうとする・・）。

血液検査で腎臓に悪い影響は出でていない模様・・主治医も回復振りに喜んでいる。一人部屋の相方さん・・ジイと同じ脳梗塞による「嚥下障害」・・未だ70歳になつてないけど・・総入れ歯を外してはいるので可哀相な顔付き、付き添いの奥さんが、ウチのジイの回復振りにビックリ、又89歳なのに、しつかりした顔付き・話し振を見て、隣でビックリしている。

介護は、朝9時から午後1時迄と、午後1時から夕方6時までを、妹と交替で見てはいる。完全看護だからそんなに見なくともいいのだろうけど、頑張れるだけ頑張つてみる。

今から思うと、定年9ヶ月前に思い切つて退職を決意した理由が、ジ

イの面倒を見てやりたいのが一つの理由だつたけど、何と云つタイミン  
グ・・血が騒いだというか、神様のお引き合させというか、不思議な啓  
示を感じます

唯、この度の入院は今までと違つて相当のダメージで、たとえ退院し  
ても介護には相当の覚悟が必要かと思われます。

09/11

ジイの昨夜の失踪騒ぎには、肝を冷やした。夜9時半頃、病院から電  
話・・「小野田・市民・・」と聞いただけで、目の前が真っ暗になつた・・  
てつくり緊急事態・・「タクシーを使って、お宅に帰つていませんか?・・」、  
緊急連絡先を、1秀明、2埴生（母）、3妹宅・・にしていたので早速の  
連絡だつた、ベッドから行方不明になつたらしい、病院中大捜査の模様、  
早速車ぶつ飛ばして行く・・道路に出て車に?・・、病院の前の溝に  
でも落ちて?・・、段差で転んで骨折でも?・・、それに、慌てた自分が  
病院に着く前に交通事故にでも?・・色んな想像が頭の中で交錯、妹にも  
連絡したので、同じ時間に二人とも到着、病院に着いたら異様な雰囲  
気・・看護婦たちが走り回つてゐる、3階に上がつたらちょうど「いた、  
いた・・」とジイ発見の知らせ、3階の廊下の一番端の一人部屋の病  
室のベッドに横になつて寝てゐる、しかも自分のパジャマのズボンを脱  
いで物干しにちゃんと掛けたてある、少し濡れでいる・・シッコの様、一

同ホツと胸を撫で下ろす。怒つてもしょうがないので、ゆっくり自分の部屋に連れて行く、良く考えてみると一人で歩いている、多分シッコをトイレでしたかったのだ・・。睡眠薬を注射され、眠りについても「ひづ、可哀想。

後先生に呼ばれて別室へ・・てつくりお田玉を食らうと思つたら。先生の方から「大変御迷惑・御心配をお掛けしました・・」と平謝り、それだけで済まなかつたのか、病状の詳しい経過報告・治療の効果が段々出て来て、自我・意識が明確になりつつあるので、悪い兆候ではない・・との説明、普通の痴呆の患者さんと違つて、急速に元気を取り戻しているとの事。痴呆によくある「徘徊」ではなく、どちらかといえば「トイレでシッコをしたい、家に帰りたい・・・」といつ血口主張の表れとのこと。

昨日の昼から、病院食・・お粥十おかず3皿（小さく刻んで、トロミをつけたもの）、ガツガツ食べる、焦つて、口の中に入れ過ぎ（調節が良く効かない）なので、傍に付いて休みながら食べ、お茶を少し飲ませながら食べさせないとムセル、それに、左の口元の筋肉が良く効かないのでは、お汁が口から少し漏れる。だけど、段々上手に食べられるようになつて、何よりも、残さず全部食べて貰えるには嬉しい、それに「あんたは食べるのかね?」・・と「ちらの事まで心配してくれる。これで点滴も、あと1~2日で終わる模様・・。シッコも、歩けることが分かつ

たので、昼間はトレイレに連れて行くと、ジヤーッと元気・勢い良く出る・・・ひと安心。同じ症状の他の患者さんと比べると、比較にならない程、元気でまとも・・顔付きも神々しい程・・

あと2～3日後からリハビリを開始する・・2週間位かかるらしい・・

サア頑張ろう 友香・圭助も、しつかり声援を送つて下さい。

09/12

## 午後から主治医の回診検査、頭のテスト

お名前は・・○。お年は・・○。今日は何年何月何日何曜日ですか・・平成14年?月?日・木曜日。(何日もベッドにいるのに分かる訳がない、それにしても木曜日・・何で分かったのだろう・・)。 「」は「」です

か？・・小野田？数字を語りますから反対から語って下さい6

25 · · 5260, 4728 · · ?

100から7を引いたらいくつですか・・93、93から7引いたら

いくつですか・・86（すごい・・計算力・・友香なら「」で挫折）、8

6から7引いたらいくつですか・・?

5つの品物を見せてますから言つて下さい。・鉛筆・鍵・時計・体温計・

歯ブラシ。今の品物を全部隠して、今見た5つの品物を言つて下さ

# い・・・鉛筆・時計? ? ?

知つてゐる野菜を10種類言つて下さい。大根・人参・葱・玉ねぎ・セロリ・アスパラガス・カボチャ・ズッキーニ・トマト・ナス。軽度の痴呆だそうです。

葱 · ? · ? · ? · ? · ? · ?

次はリハビリの先生による体のテスト

左（右）手を上げて、右（左）足を上げて・・難なく出来る。足首を動かして・・合格。 ジャンケンをしましよう・・合格（特にチョキが出せるのはすばらしい・・との事） 目を瞑つて・・触ったこの指は何指ですか・・全て合格。触った体の部分は・・腿・肘・脛・・全部合格。ベッドから起き上がって下さい・・合格。立つて下さい・・少々弱い。・・・全般的に非常にヨロシイ・・少しリハビリをすれば元気になりますよ。 車椅子に乗せて館内の散歩・・気分が少しは晴れるでしょう。

09/13

今日はとても元気。シッコ・・と囁うのでトイレに連れて行く、最初は車椅子で、次は手摺サークルで、リハビリの先生が、余り介助しなくても大丈夫ですよ・・・と言うので、歩かせたら十分歩ける（かえつて普段使い慣れていないものだと、緊張するみたい）・・今からはしっかりと歩いてもらおう。トイレの小便器に向かうのだけど、ゴワゴワのオシメをしているのでチンコ出すのが大変、出すまでに少しチビつてしまつた、小便器とチンコとの距離もとり難い。自分でしつかり歩く、唯、自分の部屋がどうも分かり辛い。・・これがこの前の失踪事件の原因。

それにしても早くオシメみたいなもの取れればいい・・もう不要なは

すだが・・

夕方、初めてのリハビリ開始、両側手摺平行棒の間を歩く訓練・・手摺も持たず、スタスタ歩くので先生びっくり、土・日・月曜日が3連休（リハビリ休み）なので、適当に廊下で歩かせて下さいとの事。

その後、石鹼・シャンプー・タオル・バスタオルを持って初めての入浴、看護婦さん付き添いだつたけど、自分でタオルを使って背中も上手に擦つたらしい。看護婦さんびっくり。ベッドから離れて、気分転換したせいか、顔色・顔付きもいい。

6時の夕食が来ると、ベッドから降りて僕の椅子に座る？ 半日介護で、すっかり腰が痛くなるので今日、背付き・肘付きのパイプ椅子を買つた・・2950円位覚悟していたら、850円だったのラッキー！！ これでゆっくり本も読める、少し居眠りも出来る・・椅子に座つて何を言つうかと思えば・・「ワシはいらんから、あんた食べなさい・・」と言つて僕にベッドに上がれと言つ・・ベッドの上ではなく、椅子に座つて食べると、ムせる事も無く、スムースに食べた、明日はテーブルも買って行こう。何はともあれ、栄養のある食事を残さず全部食べて貰るのが一番有難い。食事を良く食べるので、点滴も今日から取り止め、薬は食

後の錠剤

朝食後

バイアスピリン・・血液をサラサラにし、血栓出来難くする（胃によく

無いので胃薬併）（特に強い薬。パナルジンはもう使わなくていい）

ラニーラピット・・・心臓を強くする（強心剤）

ラシックス・・・利尿剤（心臓に水が溜まるのを防ぎ、ムクミを防ぐ）

ガスター・・・胃薬、アリセプト、グラマリール・・・痴呆予防の薬 タ

食後・・グラマリール+ガスター

看護婦の判断で夜の睡眠薬 アモバン（夜自分でトイレが出来るように  
なればいい）

今後気を付ける事・・血圧のコントロールに注意して下さい・・毎日  
同じ時間に血圧を測定（退院してからの話）